

2023年3月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2022年12月、23年1月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概要

全国景気*	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
12月の生産動向	生産は足踏みがみられる
1月の個人消費	乗用車新車販売は2カ月ぶりに前年を上回る
1月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る
1月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を上回る
1月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月連続で前月を下回る
今後は、物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2023年2月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

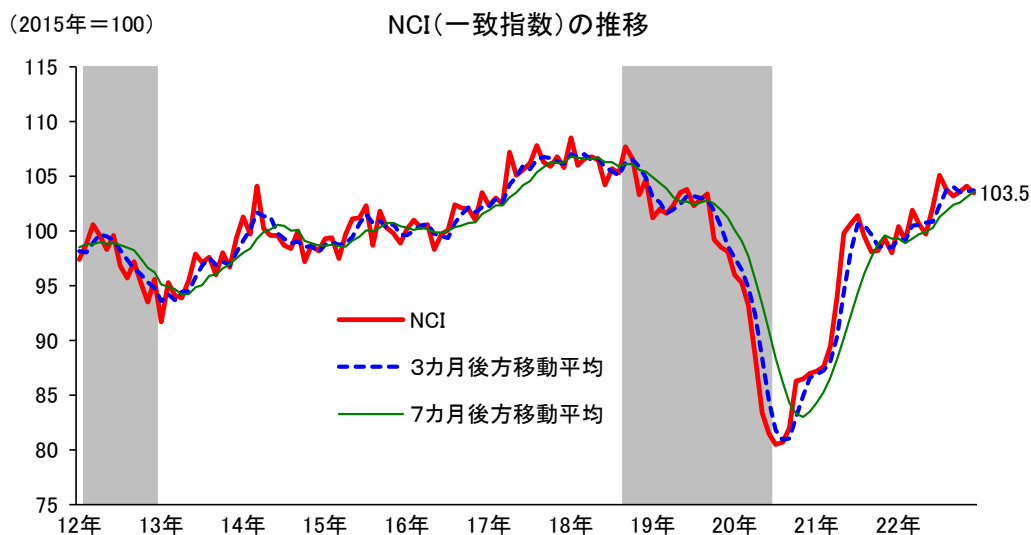
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

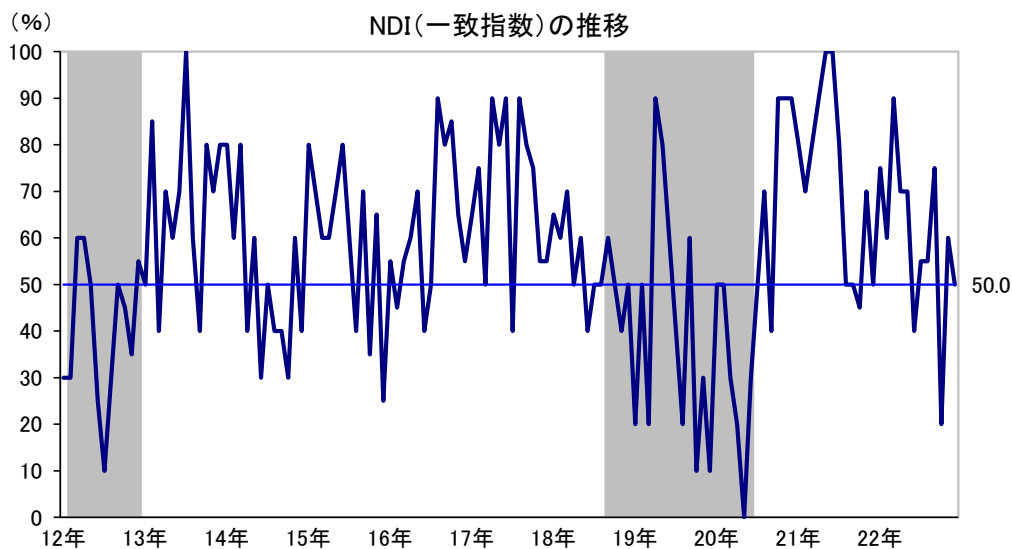


景気動向指数

- ・12月のNCI(一致指数)は、103.5と前月と比較し△0.6ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.1ポイントと2カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同+0.5ポイントと10カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、50.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%と同水準となった。



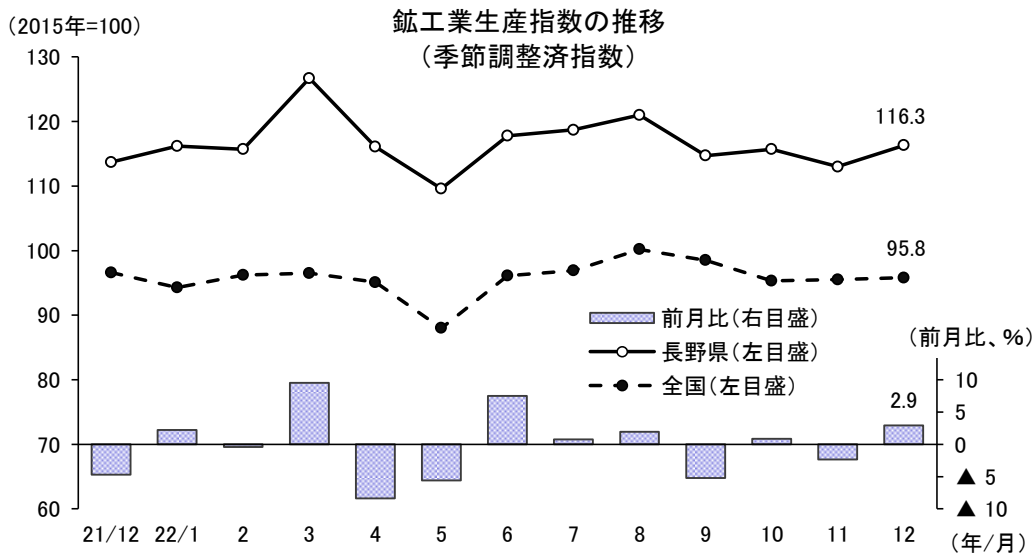
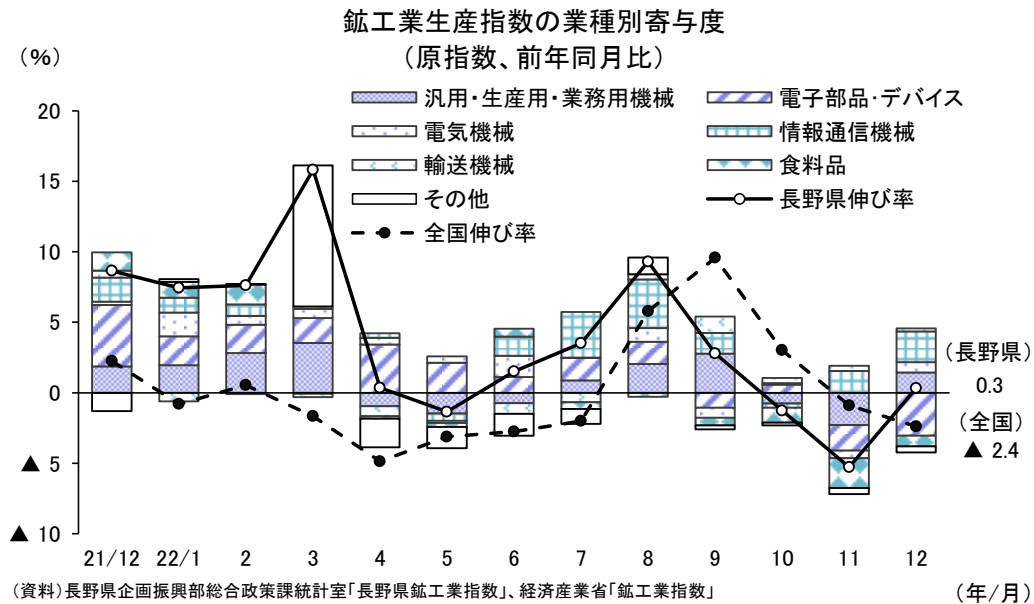
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

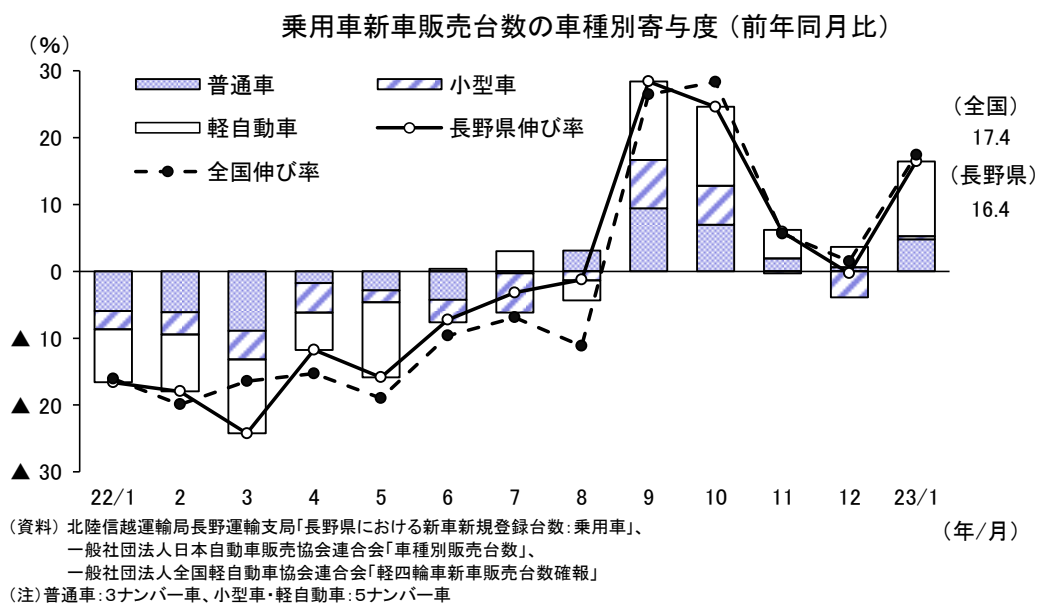
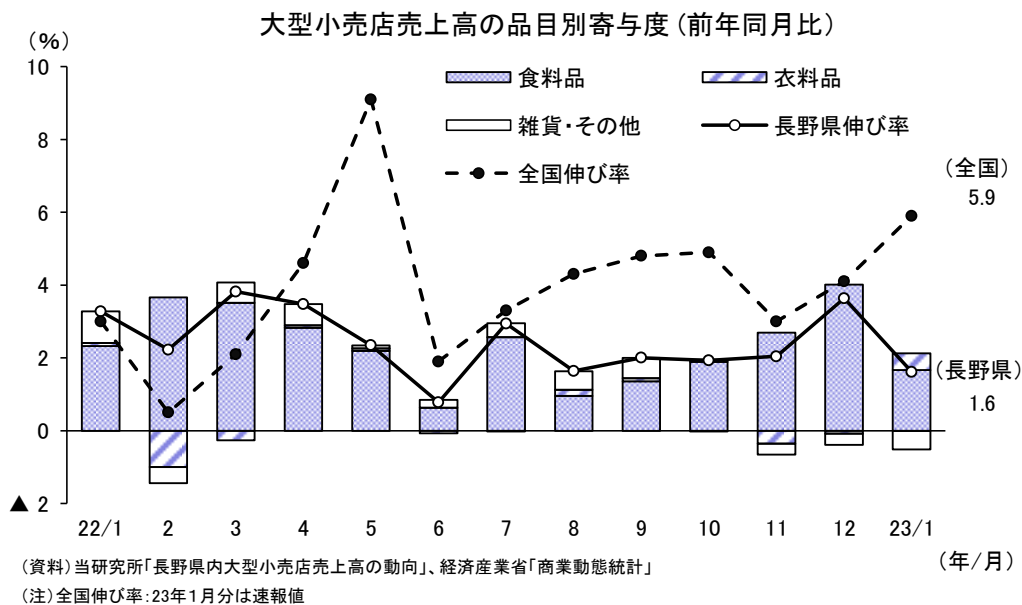
生産は足踏みがみられる

- ・12月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+0.3%、季節調整済指数が前月比+2.9%となった。
- ・原指数は3カ月ぶりに前年を上回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を上回った。内需は堅調に推移しているものの、外需に弱さがみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「汎用・生産用・業務用機械」、「電気機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「食料品」などが前年を下回った。



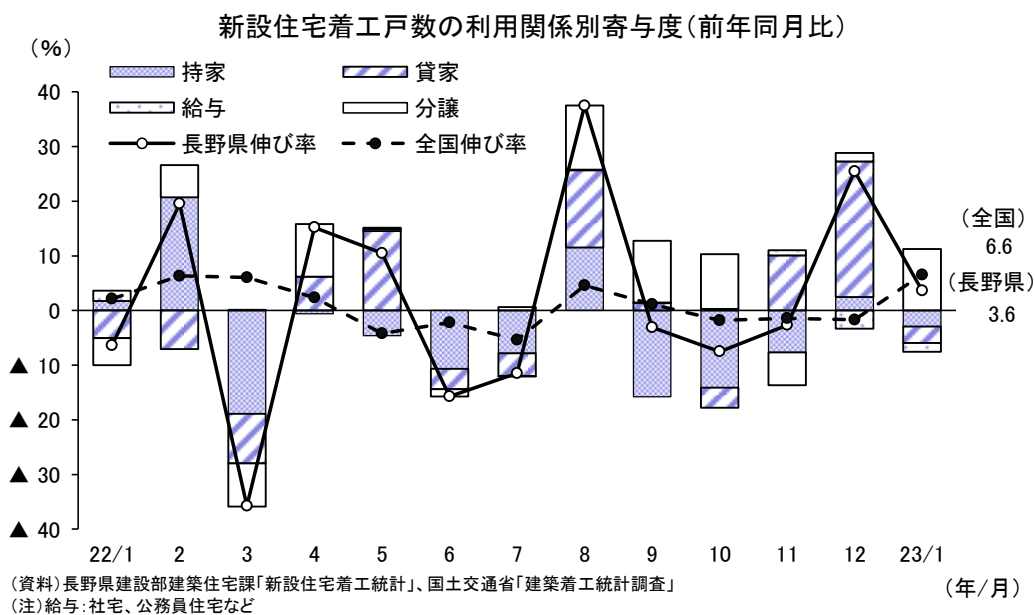
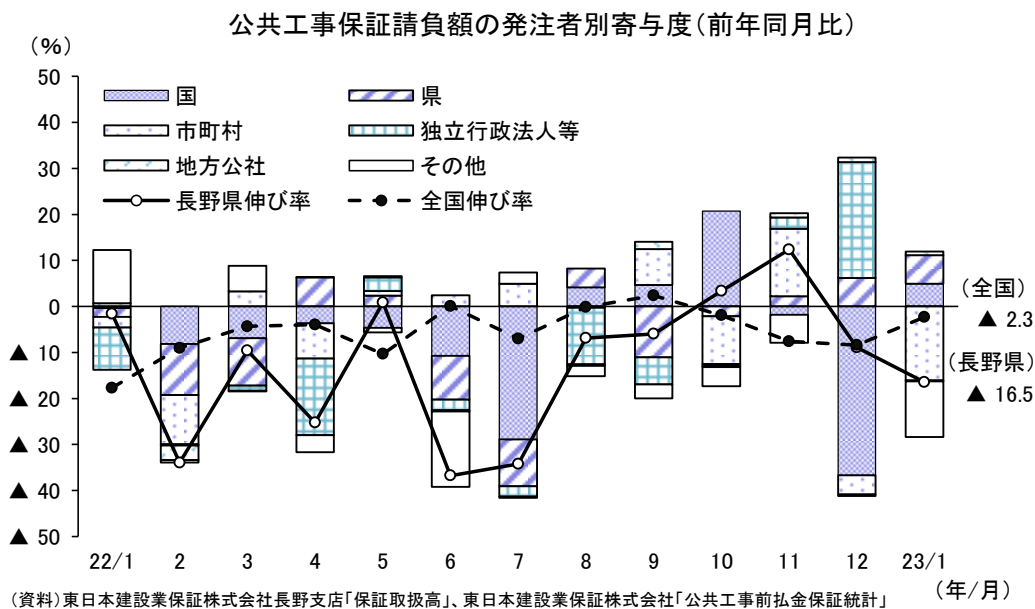
乗用車新車販売は2カ月ぶりに前年を上回る

- 1月の大型小売店売上高は、前年同月比+1.6%（売場面積調整前）となり、16カ月連続で前年を上回った。食料品は、総菜や菓子などが堅調だったほか販売価格の上昇などもあり、同+2.0%となった。衣料品は、初売りを中心に冬物の売りが増加し、同+7.8%となった。雑貨・その他は、宝飾品や日用品などが低調で、同△4.6%だった。
- 1月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善しており、前年同月比+16.4%と2カ月ぶりに前年を上回った。軽自動車は同+26.0%と5カ月連続で、普通車は同+14.8%と6カ月連続で、小型車は同+1.9%と3カ月ぶりに、前年を上回った。



公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る

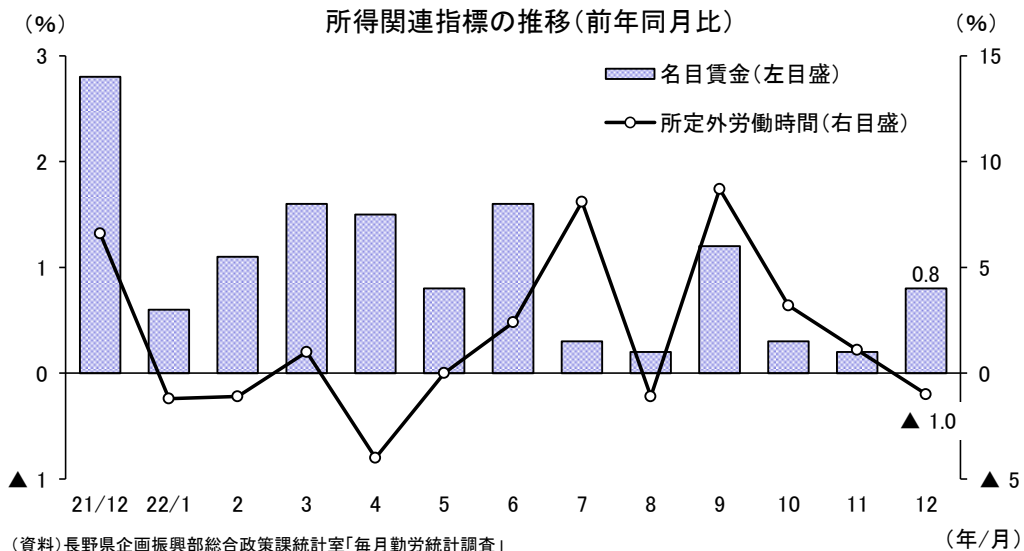
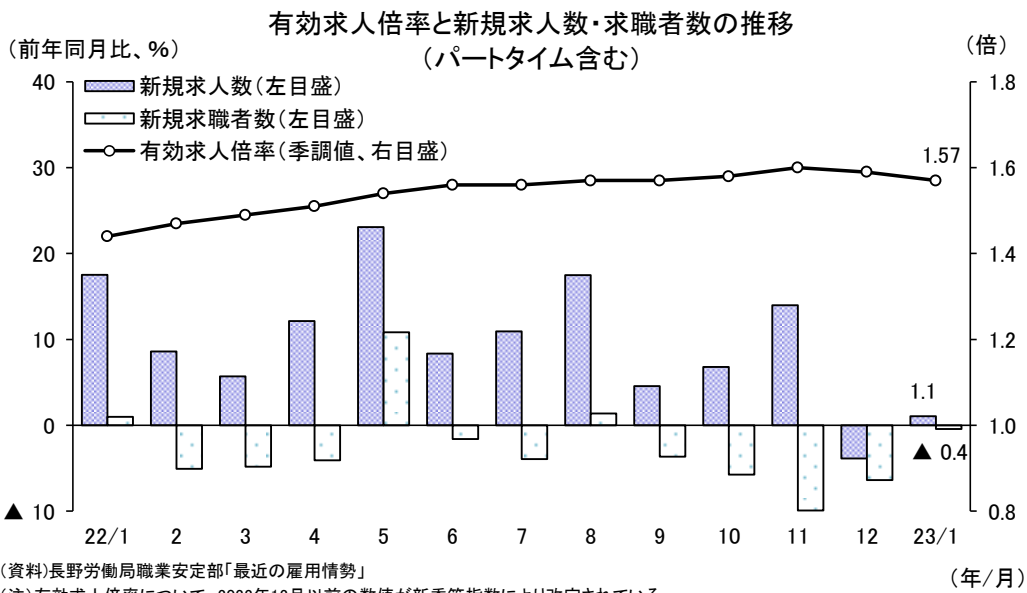
- 1月の公共工事保証請負額は、前年同月比△16.5%の75億6,100万円となり、2カ月連続で前年を下回った。発注者別にみると、国が同+134.0%、県が同+13.8%、地方公社が同+85.9%と増加したものの、市町村が同△45.3%、独立行政法人等が同△70.8%、その他が同△84.4%と減少した。
- 1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+3.6%の942戸と2カ月連続で前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同△5.5%、貸家が同△10.0%、給与が同△75.0%と減少したものの、分譲が同+77.3%と増加した。



雇用

有効求人倍率は2カ月連続で前月を下回る

- ・1月の有効求人倍率は、前月比△0.02ポイントの1.57倍と、2カ月連続で前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比+1.1%となり、2カ月ぶりに前年を上回った。このうち常用は同△2.0%、パートは同+6.1%となった。主要産業別では、宿泊業・飲食サービス業が同+16.1%、卸売業・小売業が同+8.4%、医療・福祉が同+6.8%と前年を上回ったが、建設業が△18.5%、製造業が同△13.6%と前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△0.4%と5カ月連続で前年を下回った。
- ・12月の名目賃金は前年同月比+0.8%と20カ月連続で前年を上回り、所定外労働時間は同△1.0%と、4カ月ぶりに前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

21カ月連続で4地域とも前年を上回る

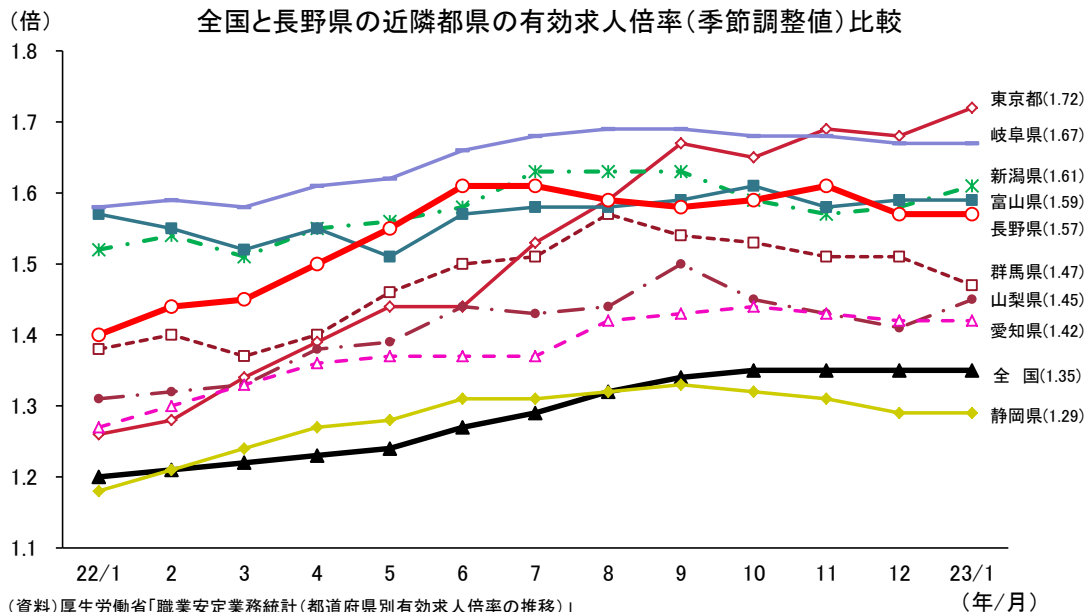
- ・1月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比+0.07ポイントの1.60倍、東信が同+0.12ポイントの1.70倍、中信が同+0.27ポイントの1.71倍、南信が同+0.03ポイントの1.58倍となり、21カ月連続で全ての地域で前年を上回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、篠ノ井、木曾福島、諏訪を除いて前年同月を上回った。
- ・長野県の有効求人倍率は28カ月連続で全国を上回ったが、順位は前月から1つ下げ12位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年1月)

地域	北 信(1.60) (前年同月比0.07)				東 信(1.70) (前年同月比0.12)		中 信(1.71) (前年同月比0.27)			南 信(1.58) (前年同月比0.03)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.55	1.43	2.02	1.78	1.68	1.71	1.73	1.50	1.68	1.60	1.67	1.52
前年同月比 (ポイント)	0.01	▲ 0.08	0.53	0.21	0.16	0.07	0.29	▲ 0.01	0.32	0.06	0.09	▲ 0.02
うち常用	1.36	1.41	1.79	1.65	1.52	1.81	1.48	1.50	1.43	1.52	1.44	1.48
前年同月比 (ポイント)	0.07	▲ 0.04	0.47	0.17	0.21	0.09	0.26	0.05	0.26	0.08	0.04	0.01

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県

3. 2022年12月以前の数値が新季節指数により改定されている